

## 雑草抑制型

## 「ウェーブボウソウ」製品

## ウェーブボウソウ(Wave・Bousou)製品

1

歩道や中央分離帯等に自生する雑草は、写真1のように道路の美観や安全を損なうだけでなく、除草費用も問題化されています。

ウェーブボウソウ(W・B)製品は、雑草の繁殖を防止するために、道路境界ブロック等コンクリート製品のアスファルト舗装との接合部にウェーブ条溝を形成させた道路環境製品です。



写真1

## 歩道における雑草の繁殖とウェーブ条溝機能

2

## (1) 歩道の雑草の生育について

歩道に繁殖する雑草は、コンクリートブロックとアスファルト等の接地面が、振動や寒暖による膨張収縮の繰り返しで図1のように剥離し、更に隙間(ポケット)となります。

飛散した種子は、土に混ざってポケットに堆積し発芽します。根は、剥離した接合部に沿って伸長し、やがて路盤に達し繁殖します。

また、路盤に潜在していた種子は、隙間をつたわって地上へと成長します。

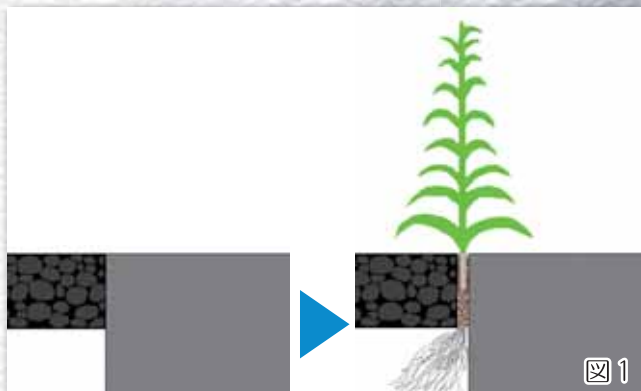


図1

## (2) ウェーブ条溝機能の原理

①コンクリート製品に、ウェーブ状の溝を形成することで図2のようにアスファルトが食い込み剥離を抑え、雑草の生育するポケットの発生を防ぎます。



図2

②剥離した場合においても、雑草の種子は図3のように留まり、発芽しても植物の\*屈地性から、根はウェーブによって路盤への伸長を阻害(向地性)され、繁殖は抑制されます。



図3

③路盤に潜在した種子は、接合部に隙間が生じないために発芽することが出来ません。また、万が一発芽した場合でも、図4のようにウェーブ条溝機能によって生育を阻害します。(背地性)



図4

\*屈地性：植物は通常、根の先端は下方に(向地性)茎の上部は上方に向かって(背地性)屈曲する。